

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の 特徴	「利用者一人ひとりの思い、家族の希望に寄り添います」「人と人とがつながり、共に支えあい、共に笑い合える暮らしの輪を広げます」「住み慣れた地域でのその人らしい暮らしを支えます」「利用者の暮らしを支える全ての人々の思いを大切にします」をモットーに、ご家族や関係機関と連携して、自宅で生活する利用者様の24時間365日を捉えた個別ケアの提供を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム あったか	管理者	西岡佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	2人	人	1人	4人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域のかかわりシートの設問内容について、日頃の運営推進会議での議論のテーマとして活用する。	・職員一人ひとりの捉え方に差はあるが、利用者に喜んで頂くために何かできる事はないかと考えて対応できるようになるなど、職員の意識に変化が芽生えてきた。 ・話し合いのテーマとして取り上げる頻度が少なかった。	・事業所評価を見ることで、何れの項目もみんなで話し合っており取り組んでいることが分かった。 ・権利擁護の事業所内研修向けの講師派遣について介護福祉課より提案あり。(地域)	・事業所評価の内容について、日頃から職員間で話し合う。 ・職員個々の持つ思いや特性を活かし、ご本人への関わりに繋げていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・ご本人が過ごしやすい環境を継続して提供する。(季節を感じ、静かに過ごす時とにぎやかに過ごす時の空間分けをする等) ・ご家族からの意見や要望に柔軟に対応し、環境整備の工夫に取り入れる。	・利用者や来客者が、季節感を感じられる空間作りを継続できた。また、清潔感と質の良い匂いを提供することができた。	・いつ来ても気持ちの良い環境だと思う。(家族) ・きれいな仕事ではないし、離職率の高い仕事だと思う。職員が働きやすく長く勤められる職場にして欲しい。(地域)	・ご本人の過ごしやすい環境を継続して提供する。 ・自宅でも事業所でもご本人が安心して暮らせる環境作りを提案する。
C. 事業所と地域のかかわり	パンフレットの見直しを行うなど事業所の広報活動を継続して行う。	・パンフレットの見直しを行い、見学时や紹介時に活用できている。	・職員は、地域のイベントにも参加して協力してくれている。項目の中で地域と繋がりましたとあっても職員数や勤務体制には限りがあると思う。大変な介護現場で働く職員の優しい気持ちや想いが地域でも活かされるような事業所になってもらいたい。(地域)	・継続的に事業所の取り組みを、発信する。(ブログ・広報誌・パンフレット)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご本人と地域の行事やイベントに積極的に参加、その様子を写真などでご家族や運営推進会議のメンバーにも報告し助言をいただく。	・要介護高齢者が自宅で暮らし続けることについて、地域によって住民の理解に温度差があり、事業所が本人や家族の思いをくみ取っていないながらも、地域で馴染の関係を維持することが難しいケースもあった。 ・地域行事には、利用者が近隣の方と一緒に参加することができた。	・徒歩送迎の際に地域の方と交流することで、ご本人の自宅周辺での生活範囲をマップに落とし込むことができた。	・お一人おひとりが望んでいる地域での暮らしの実現に向けて、出来ることを一つずつでも提案していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議への職員参加を継続する。 ・運営推進会議のメンバーと、地域での取り組みなどについて話し合う機会として活用する。	・個人情報保護の観点から事例検討が難しいケースもあるが、事業所も含めた必要な地域資源を紹介するなど、在宅介護の窓口としての役割を担う事ができた。	・少人数ではあるが、介護職員も交代で会議に参加することで、民生委員や地域住民と交流する機会を持つことが継続できている。	・運営推進会議を通して事業所が地域の困りごとが相談できる窓口の1つになることを目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災計画、非常災害設備の状況、避難訓練の実施予定を書面にまとめ、ご家族や運営推進会議のメンバー及び近隣住民に配布する。	・事業所の防災計画等について書面での報告は出来ていないが、避難訓練の実施状況、スプリンクラー設備改修工事実施説明は行った。	・今夏の大雨の際に、心配された民生委員の方から安否確認の声掛けをいただいた。事業所から近所の方への声掛けが不足していたため、非常時の取り組みに活かしたい。	・事業所の防災についての取り組みを、書面にまとめ、継続してご家族や地域の方に配布する。 ・避難訓練などを通して家族や地域の協力体制を密にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18:00~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	8人	1人	人	16人

前回の改善計画

- ・職員カード利用開始時に配布、ご家族との関係づくりに活かす。
- ・ご本人の「望んでいる過ごし方」について、計画、実施、再評価を日頃の関わりの中で職員が互いに確認する機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員の異動時や復職時にもその都度ご利用者やご家族へカードにてお知らせする事ができた。
- ・ご本人の「望んでいる過ごし方」については、計画、実施はできたが、再評価は十分にできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	8			16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	8	2		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	5	4		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	6	3		16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご家族やご本人と職員を結ぶアイテムとして職員カードの活用ができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご本人の望んでいる過ごし方について対応できたが、見直しできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・職員カードについては、継続的に活用する。
- ・ご本人の「望んでいる過ごした方」を継続して計画・実施し定期的に再評価を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18:00 ~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	10 人	2 人	人	16 人

前回の改善計画	・ 全てのご利用者様の「～したい」を実現するための、具体的な支援内容を検討し、職員全員で継続的な実施に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 外出や行事などご本人の「～したい」を実現するために職員全体で情報共有しながら支援できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	8	5	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	10	4		16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	7	7		16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	5		16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ ご本人にとって過ごしやすい環境を作り、日常の中で主体的な言動を引き出せることを目標にして支援することで、ご本人の意向を確認するなど職員の関わり方にも変化が生まれてきた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 職員全体で情報共有しながら支援できたが、職員一人ひとりの「ご本人の思い」に対する捉え方や取組み姿勢に差異があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・ ご本人の「～したい」の実現に向けて、職員全員が具体的な支援方法とその目的について理解を深めることで、職員ごとの「ご本人の思い」に対する捉え方や取組み姿勢の差異を減らすことができる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	7 人	2 人	人	16 人

前回の改善計画	・引き続き、職員全体でご本人とご家族への関わりについて、話し合いを持ち生活の質の向上に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者会議やご家族との関わりの中でご本人の日々の支え方について話し合う機会が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	3	6	5	2	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	6	3		16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	7	6	3		16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	8	1		16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	7	3		16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」を 10 個以上把握することはできていないが、以前よりも職員一人ひとりが「ご本人の事をもっと知ろう」といった姿勢のアプローチができるようになった。 ・日々の関わりを通して知り得た情報を、全員で共有する意識が職員に芽生えた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご利用者の日々の状態変化に気づけていても、それに対する対応方法の見直しは十分ではなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ご本人の生活の質の向上のために、生活状況や状態変化に合った、介助方法や関わり方をその都度見直していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	4人	1人	16人

前回の改善計画	・地域資源を活用する目的や活用方法について職場内研修を実施、エコマップを用いた事例検討を行うことでご本人にとって必要な社会資源を見つける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご本人の生活圏域でのサポートの際、エコマップを用いて行動範囲を探る事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	9	3	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	7	3	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	8	5		16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	5	6	2	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ご家族からの情報の提供、実施への協力を頂くことで、馴染みの理髪店に行ったり、地域のお祭りに参加したりするなど地域との関係性の維持を図ることができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・エコマップを用いた生活圏域の把握ができた事例は1例のみで、他のご利用者へ広げられていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(前回と同様の改善計画を継続)	・地域資源を活用する目的や活用方法について職場内研修を実施、エコマップを用いた事例検討を行うことでご本人にとって必要な社会資源を見つける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 : 00~20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	7 人	2 人	人	16 人

前回の改善計画
・早期にご本人やご家族の状態変化、記録方法や情報の伝達についても見直しする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・申し送りノート、日誌や記録物だけでなく、PHSやインカムを活用して職員間でタイムリーに伝え合えるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	7	7	2		16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	4	1		16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	4	3		16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	5	1	1	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人やご家族の体調や環境変化に合わせて、泊まりサービスや訪問サービスなどを調整して柔軟に対応することができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・サービス利用前の地域との関わり方は、ご本人・ご家族ごとに差異があり、十分に地域資源が活用出来たとまでは言えない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・ご本人とご家族を取り巻く地域環境に目を向ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 00 ~20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8人	6人	2人	人	16人

前回の改善計画
・小規模多機能居宅介護について、これまでの取り組みなどを交えた広報活動等による周知を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
・愛媛県地域密着型サービス協会が主催する研修会で事例発表を行うなど、取り組みを外部に報告することができた。
・パンフレットを刷新して広報活動に活用することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	7	3	2	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	7	2	3	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	8	5	3		16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	9	4	3		16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・敷地内に併設する子育て支援団体・地域サロン団体との連携について、職員がその意義を理解し関係性を深めることができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ブログ等を活用した広報活動が不足している。
・自治体や地域包括支援センターが開催する会議に参加する頻度が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・広報紙だけでなくブログを有効活用し、小規模多機能居宅介護の取り組みを継続して発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 : 00～20 : 30)

7. 運営

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7 人	8 人	1 人	人	16 人

前回の改善計画	・ご本人やご家族様からの意見を事業所全体で共有するため、地域との関わり方や具体的な取り組みについて話し合う機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議や家族様との関わりの中で頂いた意見や助言を、事業所の運営に活かすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	5	8	3		16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	7	1		16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	6	1	1	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	8	7	1		16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご本人が地域で暮らし続けられるために、地域の方々に向けてご家族と協働して情報発信を行うことができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所から地域に向けた働きかけが不足しているため、地域に必要とされる拠点作りは十分ではない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・台風による大雨の際、民生委員の方から心配して声を掛けて頂いたことを感謝している。事業所から地域へ向けての働きかけが不足しているため、双方向の情報発信に取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 : 00～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	10人	5人	1人	人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・地域における、連絡会などの情報を把握し職員へ周知する。・継続的に研修へ参加して、スキルアップに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・町内で開催される研修会に計画作成担当者及び管理者を中心に参加できた。・職員は、法人のキャリアアップ制度を活用し介護福祉士の資格取得に取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	12	3		1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	11	4		1	16
③	地域連絡会に参加していますか	5	4	4	3	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	1	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・前年度と比べると職員一人ひとりのリスクマネジメントに対する意識が高まり、提出されたヒヤリハットを情報共有しながら介助方法や対策についての検討機会が増えた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域連絡会への参加は、開催時間の関係で調整が難しく、一般職員の参加には至らなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・内部、外部問わず、継続的に研修へ参加してスキルアップに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 20 日 (18 : 00 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	5人	1人	人	16人

前回の改善計画	・研修（身体拘束・虐待防止・プライバシー保護等）については、小規模のサービス提供に必要な内容を選択し、継続的に開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・内部、外部研修へ参加し、職員の人権やプライバシーに関する意識が高まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	4	1		16
②	虐待は行われていない	11	5			16
③	プライバシーが守られている	12	4			16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	1	1	8	16
⑤	適正な個人情報の管理ができています	10	6			16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の対応について検討する際に、言葉遣いや介助方法について話し合い、職員間で（どういったことが虐待にあたるかあたらないか）確認し合える環境に少しずつ変化した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度活用の検討必要性があるご利用者がいるため、事前学習の必要がある。 ・虐待につながる不適切なケアについて、職員の捉え方に差異が感じられるため、継続的な研修の開催が必要である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・成年後見制度について、職員の理解を深めることができる。	